

# アニマルウェルフェアを実現する 聴診音モニタリングサービス「牛ログ」 2022年11月1日販売開始

音声・音響技術を専門とする株式会社アニモ（所在地：神奈川県横浜市中区 代表取締役：服部 一郎）は、畜産業界向けに聴診音モニタリングサービス「牛ログ」を2022年11月1日から販売を開始いたします。



 うしログ ※特許出願中

「牛ログ」は、電子聴診器で牛の胃の音を録音し、音響分析技術を活用して、健康状態をモニタリングするクラウドサービスです。牛の健康状態をデジタル管理することで、重症化を防ぎ、アニマルウェルフェアの実現を支援いたします。

## ■ 開発背景

畜産業界では、高齢化や人手不足が進んでおり、先端技術を活用したスマート農業による労働力負担の軽減、生産性の向上が求められています。

牛の健康管理業務は、獣医師による定期的な検診はなく、飼育員が異変を感じた場合に連絡するなど、多くは経験や勘に委ねられ病気の発見が遅れる可能性もあります。

このような状況は、家畜のストレスや疾病を減らし、生産性の向上や安全な畜産物の生産につながるアニマルウェルフェアの実現に向けた課題でもあります。

アニモは、これまで社会・産業インフラ業界向けに提供してきた、人の経験や勘に依存しない聴感点検の自動判定技術（音響AI）を応用し、牛の健康状態を聴診音でモニタリングするクラウドサービスを開発しました。これにより、畜産業界の課題解決やアニマルウェルフェアの実現を支援いたします。

## ■ 利用イメージ

牛の胃の音を電子聴診器で録音し、聴診音を可視化・デジタル化し、健康状態をモニタリング。過去の個体記録情報をレポートとして出力し、獣医師に正確な情報を共有することができます。



## ■ サービスの特長

### ① 聴診音のデジタル化

音響分析技術で牛の胃の聴診音を可視化・数値化し、客観的に評価。経験が浅いスタッフでも簡単にご利用いただけます

### ② 注意牛のスクリーニング

聴診音データ以外にも、搾乳量、排便状態、給仕量などの管理情報もデジタル管理・蓄積。人の経験や勘だけに依存せず牛の健康管理ができます

### ③ アニマルウェルフェアを実現

聴診音データと、個体記録情報をレポートとして出力し、獣医師に迅速で正確な情報を共有。牛にとってより安全で快適な健康状態を保持することでアニマルウェルフェアの実現に貢献します

## ■ 利用シーン

- ① 日々の健康観察 ... 体調が悪そうな牛の状態を確認
- ② 治療後の経過観察 ... 病気治療後の牛を経過観察
- ③ 定期的な健康チェック ... 健康牛に対しても定期的にチェック

### ※電子聴診器での収録の様子



## ■ 今後の展開

本リリースは、胃の音が対象となりますが、肺・心臓の音にも対象を拡げ、今後3年間で50農家の利用を目指します。

将来的には、本サービスで蓄積した聴診音データとスマートグラスを活用したリモート診療の実現に向けてシステム開発の展開を計画しております。

## 株式会社アニモ

富士通株式会社のベンチャー第一号企業として、1994年8月に創業。「音・音声」をキーテクノロジーとしたソフトウェア、サービス及びソリューションの開発、販売を行っています。

所在地：〒231-0015 横浜市中区尾上町2-27 大洋建設関内ビル4F

URL：<https://www.animo.co.jp/>

TEL：045-663-8640 FAX：045-663-8627 フリーダイヤル：0120-010-249（平日9:00～17:00）

※本件に関するお問合せ先：ANIMO Cloud 事業部担当者まで